

～海鳴い遙かに～

上高だより

平成31年1月31日 木曜日
第10号



長崎県立上五島高等学校
NAGASAKI PREFECTURAL KAMIGOTOU HIGH SCHOOL



「挑戦」

教頭 桑原 鉄次

新しい年になり、早くも1月が終わろうとしています。5月に改元が予定されており、「平成」という元号も残り3か月となりました。これに関連する行事等のため、改元の日を含め10日間の連休になります。東京オリンピックも翌年に迫っており、非常に活動的な日々になりそうな気がしています。

さて、1月8日の始業式から三学期が始まりました。開始早々、全国的にもインフルエンザが流行し、1月17日には県内でも流行警報が発令されました。まだまだ寒い日が続きますので、体調の管理には十分に気をつけてください。マスクの着用、手洗い・うがいの励行等お願いします。その中で、1月19日・20日に本校で大学入試センター試験が実施されました。今年は積雪の心配もなく、比較的暖かい天候に恵まれ、予定者は全員無事に受験できました。今後は、出願手続きや旅行の手配を遺漏の無いよう進めてください。3月に卒業する65回生は、国公立大学等進学志願者以外は全員の進路先が決定しています。この勢いで、国公立大学等進学志願者も合格を勝ち取っていってくれることを祈念します。

なお、三学期はその年度の最後の学期です。年度内にやり残したことが無いようにしてください。特に、学年末考査はこれまで以上に万全の準備を行ってください。一方、次年度の態勢を整える時期でもあります。三年生は、卒業後の生活に向けて、一・二年生は次の上級学年に向けての準備をしっかりとしてください。「切れ目の無い」円滑な接続となるようにしてください。

ところで、昨年告示された新学習指導要領の本格的な実施は2022年度からですが、先行して実施されるものもあります。具体的には、総合的な学習の時間を改訂し設定された「総合的な探究の時間」です。また、大学入試センター試験も2021年1月から「大学入学共通テスト」に変わります。2017年と2018年の2年間に渡って試行調査が実施されたことは周知のとおりですが、これを分析する限り、新しい傾向として単なる知識を問う問題ではなく、「生きて使える知識」であるかを問う問題が出題されています。入試方式も推薦入試やAO入試による定員が今以上に増加する見通しです。将来自分が何をやりたいのかを意識した高校生活を送ることが今まで以上に求められてきます。本校の教育もこの変化に対応できるよう、これまで以上に研究を重ねていく所存です。「変化」に対して不安感はありませんが、「勇気」をもって前に進み続けていきたいと思えます。生徒・保護者の方と一緒に「挑戦」したいと思えます。共に頑張りましょう！

■ 1学年より

流されない3学期に

3学期がスタートして4週間が経過しました。冷え込みが厳しく、冬を感じさせる日々が続いていますが、外で部活をしていると日没の時間は徐々に遅くなっていることに気がきます。着実に春の足音は近づいてきているようです。1月8日の学年集会でも話をしましたが、昔から1月は「居ぬ」2月は「逃げる」3月は「去る」と言われるように、3学期の3ヵ月間は感覚的には本当にあっという間に過ぎ去ってしまいます。「1日＝24時間＝1440分」という時間は万人に平等に与えられていますが、この平等な時間をどう使うかは私たち一人ひとりに委ねられています。特に高校時代に過ごす時間は、人生の中でも本当に貴重な時間だったと、大人になってから強く思います。67回生のみんなも、スピード感に流されて何となく3学期を過ごすのではなく、人生に1度しかない1年生の3学期を、意味のある期間にしてください。

■ 2学年より

北半球では1月は寒いです。乾燥します。体の抵抗力が下がります。様々なウイルスが流行する時期です。寒さや乾燥は誰の元にも平等にやってきます。「近所の〇〇さん家の近く今日は気温30℃でしたよ。」なんてことは起こりえません。冬は寒いことを皆知っています。ですから冬には準備ができます。

こまめに手洗いうがいをする。マスクを着用する。規則正しい生活をする。しっかり食事をする。睡眠をしっかりとる。

冬に体調を崩さないために必要なことは皆知っています。ただし実行できるかは人それぞれです。2年生の3学期の伝染病、体調不良を理由とする出席停止、欠席、早退、遅刻の総数は124件です。(1月8～23日)

NHK大河ドラマの主人公、日本マラソンの父 金栗四三の残した言葉に「体力 気力 努力」というものがあります。2年生に今足りないのは体力。マラソンで早く走るより毎日学校に来る体力をつけましょう。

■ 3学年より

～65回生の皆さん 次のスタートへの準備はOK?!～

着々と「巣立ち＝次のスタート」のときが近づいてきています。

☆1・2組の皆さんへ 進路決定に一直線。全力で走り抜け!!

○何よりも優先すべきは「体調管理」

○情報に振りまわされるな 自信持て

○忘れるな 振り返れば 応援団がついてるぞ

平常心でいつも通りの学習をし、受験に臨もう。つねに見守ってくれていることを忘れずに。

☆3・4・5組の皆さんへ 最後の学年末考査終了! 最後まで全力を出せる人に! 高校生活に終わりはありますが、人生に終わりは無い。一つひとつの節目に全力で臨めるかどうか・・・で人生変わってくるものですよ! 1月末の学年末考査が終れば、週1回登校の自宅学習期間が始まります。次の世界へ羽ばたくための有意義な期間にしましょう。

弁論大会に参加しました!!

2018年12月22日(土) 鯨賓館ホールにて「第六回 上五島地区高校生弁論大会」が開催されました。「この島の未来へ 君は何を想うか」というテーマで上五島高校からは4名の弁士が出場しました。4名の弁士は、原稿を何度も推敲し、発表の練習を重ね本番に臨みました。4人は、上五島に対する思いや、将来の目標、町に対する提言など、熱い思いを自身の体験や具体案を交え、説得力のある弁論を行いました。また、多くの生徒が会場で弁論を聞き、大きな拍手を送りました。未来の上五島を担う高校生たちの今後の活躍に期待します。

< 最優秀賞 >

山見 翼くん(1年4組) 「Let 's play!! 上五島 ~自然と技術の融合~」

< 優秀賞 >

江口 哲平くん(1年3組) 「考え込むよりもまず一歩」

船倉 桐菜さん(1年3組) 「来て知ってほしいあたたかさ」

永尾 聖さん(1年2組) 「未来の上五島を描く」



貴重な機会となりました!!

1月11日(金)、浦桑地区出身で、本校に多大なる支援をいただいている、演劇や芸能、中国文化に関する研究家の元日本大学 教授 松原剛先生に文化部生徒を対象とした講話をしていただきました。生まれ育った環境に関わらず、勉強に励む意義や、日常の積み重ねや努力を怠らず、当たり前ことから自分を創ることの大切さなどを述べられました。

その後、中国伝統芸能役者であるアジア芸術文化促進会代表の王文強氏が変面を披露してくださいました。目にも留まらぬ速さで次々と仮面が変化する様子に、生徒は魅了され、歓声を上げていました。日頃触れることのない中国文化に触れ、高揚感や感動を味わうことができる貴重な機会となりました。最後に、「やりたいことや目標を明確にし、その実現のために勉強を頑張ってください。」という激励の言葉をいただきました。

生徒の皆さんには、自分事であるという意識をもって、しっかりと目標を定め、夢の実現に向けて努力を積み重ねて欲しいと思います。

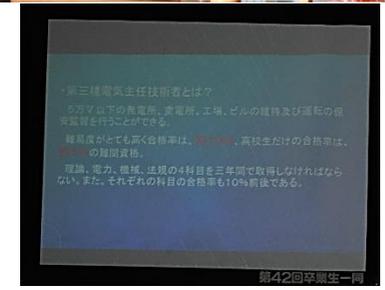


1年間、取り組みました!!

平成31年1月18日(金)に本校体育館にて、電気情報科3年生がこの1年間取り組んできた課題研究についての発表会を実施しました。今年度は7班に分かれ、各班が設定したテーマについて学習・調査・製作してきた成果の発表を行いました。

「ピンボール製作」、「やまつみ」、「学校貢献活動」、「第3種電気主任技術者試験」、「照明に関する研究・製作」、「橄欖通り雑草切り・池廻り整備・ゴミ倉庫新設・機器室整備」、「学校建築模型」をテーマに各班取り組みました。

課題研究での取り組みを通じて、多くの専門的な知識が得られ、ものづくりの大変さや協力しあうことの重要性を知ることができました。また、普通科の生徒にとっても、とても興味深い発表であったようで、最後まで真剣に発表を聞いていました。来年度以降も生徒の様々な取り組みへ期待します。



2月の行事予定

2日(土)	②対外実力(~3日)	21日(木)	①②学年末考査(~26日)
7日(木)	主権者教育		③登校日(年金セミナー)
	③登校日(ヤング講座)	24日(日)	第3回英検2次
11日(月)	建国記念日	26日(火)	①②個人写真撮影
14日(木)	①②考査時間割発表	27日(水)	①②考査返却時間割
	生徒総会		③登校日(学年卒業式予行)
	③登校日(内定者セミナー)		島内合同企業説明会
		28日(木)	卒業式予行 同窓会入会式